

第4章 中判田駅周辺地区の将来像

1. 中判田駅周辺地区の魅力

本地区は大南地区の主要な駅である中判田駅や、国道10号と国道10号大分南バイパス（米良バイパス）が接続する本市南部の交通の要衝であり、周辺には梅が丘・けやき台・高江ニュータウン・つつじヶ丘・判田台・ひばりヶ丘など郊外型の多くの団地による市街地の広がりや人口の集積があります。

また、大分県立大分南高等学校や大分市立判田中学校、判田小学校などの文教施設があり、周辺部では昔からの豊かな自然が今も変わらず残っています。

また、地域のスポーツ活動の拠点としての大南地区スポーツ施設整備や、国道10号高江拡幅など、本市の南部の拠点としての整備が進められています。

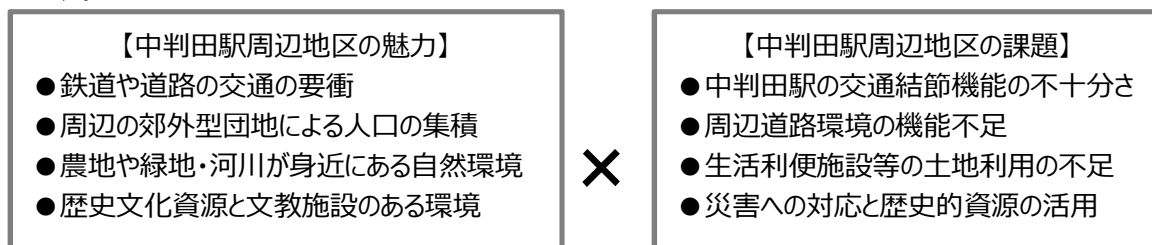
このように本地区は、交通の拠点となる道路と駅の結節点や、周辺の市街地や人口の集積、身近にある農地や緑地、歴史的資源などの環境を備えた魅力と可能性のある地区です。

2. 中判田駅周辺地区の将来像

本地区では多くの魅力がある一方、交通結節点としてJR中判田駅の機能が十分でないことや、周辺道路からのアクセスが難しいこと、駅周辺での生活利便施設の土地利用がなされていないこと、その他災害への対応や歴史文化資源の活用など、様々な課題もあります。

少子高齢化で人口減少社会が進む中、人々の移動手段として鉄道駅があることは大きな財産であり、多くの人口を抱える周辺の団地や高校生などの駅を利用する方々の利便性を高めていくことが求められています。

本地区では、各課題を踏まえて、地区の魅力と利便性をより高めていくことができる都市基盤の整備を目指し、「交通結節機能と魅力の向上による南部地区拠点の形成」をまちの将来像とします。



駅を中心とした交通環境形成のための都市基盤の整備

交通結節機能と魅力の向上による南部地区拠点の形成